

<p>単元目標 (育成したい資質・能力)</p>	<p>・面積の単位「cm²」「m²」「km²」「a」「ha」とその関係や、長方形と正方形の求積公式について理解し、公式を用いて面積を求めることができる。 [知識及び技能]</p> <p>・単位の考えを用いたり、図形の構成要素に着目したりして、面積の表し方や複合図形の面積の求め方、単位の関係について考え、説明することができる。 [思考力、判断力、表現力等]</p> <p>・面積を数値化して表す良さに気づき、生活や学習に生かそうとしたり、複合図形の面積の求め方について、多面的に考え、より良い方法を追求しようとしていたりしている。 [学びに向かう力、人間性等]</p>	<p>二つの側面</p> <p>A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力</p> <p>B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力</p>	<p>三つのプロセス</p> <p>①発見・蓄積 必要な情報を確かに取り出す</p> <p>②分析・整理 情報を比較し、関連付けて整理する</p> <p>③再構築 自分なりに解決し、知識を再構築する</p>
------------------------------	---	--	---

<p>単元の流れ ○主な学習活動 □指導上の留意点</p>	<p>○「読み解く力」を育成するための手立て</p>	<p>「読み解く力」の育成に重点を置いた目指す児童生徒の姿</p>	
<p>①「面積」について興味・関心をもつ</p> <p>○「陣取りゲーム」を行い、広さの比べ方を考え、本単元の学習の見通しをもつ。</p> <p>□どちらが広いのかゲームの結果を「はっきりさせたい」という必要性を感じ、目的意識をもつようにする。</p> <p>①広さの比べ方を考え、1辺が1cmの正方形のいくつかで面積を数値化する。</p> <p>○マスで数で比べる方法に気付き、違うグループ同士でも陣取りの広さを比べることができないか考える。</p> <p>□自分の陣地を切って比べる方法もあるが、マスの数を数える方法なら大人数でも簡単に比べられることに気づき、任意単位による比較のよさを感じられるようにする。</p> <p>②「面積」の用語とその意味を理解し、単位「cm²」を知る。</p> <p>○広さのことを面積ということ、面積の単位「cm²」を知り、面積を「cm²」の単位で表す。</p> <p>□変形をすると1cm²ができることが想像できない児童には、具体物を使用して理解できるようにする。</p> <p>③長方形や正方形の面積を計算で求める方法を考える。</p> <p>○長方形や正方形の面積の求積公式を理解し、面積を求め、公式をまとめる。</p> <p>□面積を求めるために、必要な長さがどこかを考える。</p> <p>□図形が不安定な状態でかかれている場合もあることに気付き、図形に対する多様な見方を身に付けられるようにする。</p> <p>④面積と辺の長さの関係について調べる。</p> <p>○周りの長さでは、面積が決まらないことを理解できるようにする。また、長方形の面積と一方の辺の長さから、もう一方の辺の長さを求める方法を考える。</p> <p>□周りの長さが同じなのに、面積が異なることが理解できない児童には、ひもの長さを一定にして形を変形し、描けた部分の面積が減ることを理解できるようにする。</p>	<p>○目的意識をもつための工夫</p> <p>・「陣取りゲーム」をペアで行い、陣が広いのはどちらかを「はっきりさせたい」という思いを引き出し、単元における数学的活動への必然性や目的意識をもてるようにする。</p> <p>○「分析・整理」するための工夫</p> <p>・話合いの際には、自分の考えた方法と友だちの考えた方法の共通点や相違点に注目し、自分の考えを確かにしたり、深めたりできるようにする。</p> <p>・友達の考えを読み取ったり筋道を立てた説明となっているか評価したりする活動を取り入れる。そうすることで、説明するに当たって必要な情報が入っているかという観点をもって臨むことができ、自身の考えを広げたり深めたりすることにつながる。</p> <p>○「再構築」するための工夫</p> <p>・より良い考えや方法を生かす場面を設定することでよさを実感し、自分のものとする。</p> <p>・再構築したものを自在に活用できる「適用問題」に取り組み、多面的に考えを広げるようにする。</p> <p>・学習したことを個々に言葉や図・文章で書き、学びを積み上げることで理解を深める。</p> <p>・「まとめ」「適用問題」「ふりかえり」を通して、「わかった(かも)」を「(確実に)できる」につなげる。</p>	<p>A：文章・グラフ・図から</p> <p>①文章や資料等から、目的に応じて情報を取り出す</p> <p>○既習事項との違いや疑問などを見つけ出し、課題を創り出している姿。</p>	<p>B：やりとりから</p> <p>①相手の言葉、しぐさ、表情をもとに相手の思いを感じ取る</p> <p>○友達の考えを聞いたり、やりとりを通して課題を共有している姿。</p>
<p>⑤⑥複合図形の面積の求め方を考える【本時】</p> <p>○図形の構成の仕方に着目して複合図形の面積の求め方を考え、説明する。</p> <p>⑦広いところの面積の表し方を考える。</p> <p>○面積の単位「m²」を知り、面積をm²で表す。</p> <p>□1m²の中には、何人ぐらい立つことができるか体感する。</p> <p>⑧1m²と1cm²の関係を調べる。</p> <p>○身の回りにある物の面積を予想し、調べる。</p> <p>⑨町や県の広さのような大きな面積の表し方を考える。</p> <p>○1km²はどれぐらいの広さなのか学区の地図から調べ、量感をつかむ。</p> <p>⑩いろいろな面積の表し方を調べる。</p> <p>○「a」「ha」を知り、一辺の長さに着目して整理する。</p> <p>⑪基本的な学習内容を理解しているか確認し、習熟する。</p>	<p>◇ICTの活用</p> <p>○児童の話合いに必然性をもたせる活用</p> <p>・ロイロノートを活用し、大型モニターに個々の取り組み状況を掲示する。児童は必要とする情報をもった児童を選び、交流することで目的意識を確かにした交流をする。</p> <p>○考えの手がかりとしての活用</p> <p>・既習内容やこれまでの学びを端末に残しておくことで、必要な時に必要な情報を取り出すことにより、考えをもつ手がかりとする。</p> <p>○「わかった」から「できる」につなげる</p> <p>・「再構築」において、児童が「わかった」を「できる」とするために、適用問題の取り組み状況を共有する。</p>	<p>②様々な情報を比較し、目的に応じて分析したり、整理したりする</p> <p>○いくつかの考えや方法から、共通点や相違点を見つけ出し、面積の求め方を考えている姿。</p>	<p>②相手の思いや意図を自分の考えや経験と比較しながら整理する</p> <p>○友達と説明し合ったり、発表したりする交流において、友達と自分の考えを比較・検討し簡潔・明瞭・的確な説明となっているかを吟味している姿。</p>
		<p>③解釈した内容を経験や知識と結び付けながら考えを深めたり、創造したりする</p> <p>○図形を構成する要素に着目し、より簡潔・明瞭・的確な表現で図形の面積の求め方を考察している姿。</p>	<p>③やりとりを通して、相手の思いや意図を踏まえながら、自分の考えを確かなものにしたリ、創造したりする</p> <p>○話合いや友達の考えを試す場面を通して、友達の考え方や説明のよさを、自分の説明に生かしている姿。</p>